

## SDGs達成に向けたウォータースタンドの取り組み



### 給水スタンド設置による脱水・熱中症対策

水分補給を呼び掛け、熱中症などを防ぐ



給水スタンドとは

誰でも給水できる「ウォータースタンド」の呼称

<設置場所>

役所、図書館、公民館、体育館等の公共施設（協定締結自治体）  
その他、協力店舗、事務所等

給水スタンド設置台数（全国）※2023年10月末現在

# 2,589台



### プラスチックボトル製造、リサイクル時に発生するCO2削減

マイボトルの携帯でプラスチックボトルをリデュース

500mlプラスチックボトル1本を使用した場合に排出されるCO2はステンレス製水筒（100回使用）と比較し約8.6倍となる119gにのぼると言われています。

※引用 環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」（2011年4月）



ステンレスボトル  
（100回使用／500ml）

CO<sub>2</sub> 排出量  
（1回あたり）

約13.9g



ガラス瓶  
（300ml）

約51g



プラカップ  
（350ml）

約78.5g



ペットボトル  
（500ml）

約119g

約3.7倍

約5.6倍

約8.6倍

ボトルを10トントラックで  
100キロ運搬したときのCO<sub>2</sub>排出量

※環境省温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver4.8）  
（令和4年1月）第II編温室効果ガス排出量の算定方法



# 約55t-CO<sub>2</sub>

※軽油を燃料とする営業用10トントラックで積載率が不明な場合の  
輸送トンキロ当たり燃料使用原単位を使用  
※単位発熱量及び排出係数に算定省令の値を用いない  
※輸送距離を100kmと仮定  
※PETボトル飲料の1本あたりの重量を500gと仮定

# SDGs達成に向けたウォータースタンドの取り組み

12 つくる責任  
つかう責任

## マイボトル普及によるプラスチックボトルごみの削減

給水スタンドの設置により  
プラスチックボトルごみの削減

協定締結自治体実績 ※2023年10月末現在

# 80団体



ウォータースタンド株式会社は、2023年6月神奈川県と  
使い捨てプラスチックボトル削減に向けた協定を締結し、  
県内の給水スタンドを拡大しています。

詳しくは

次世代へ環境問題について考える  
楽しいきっかけを創る



▲小学校への給水スタンドに環境問題についてのパネルを掲示

17 パートナリングで  
目標を達成しよう

## ウォータースタンドで働く人や、会社・地域の人と一緒に取り組む

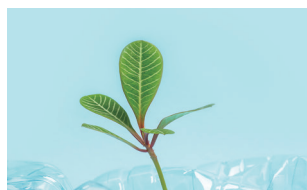
マイボトルに給水できる営業所



全国に  
**61箇所**

※2023年10月末  
現在

イベントによる啓発と周知



ウォータースタンドは未来の世代のためにより良い地球環境を引き継ぎます。  
わたしたちは、2030年までに日本の使い捨てプラスチックボトルを 30億本減らします。

WATER STAND



-3 billion by 2030



Plastics  
Smart

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています